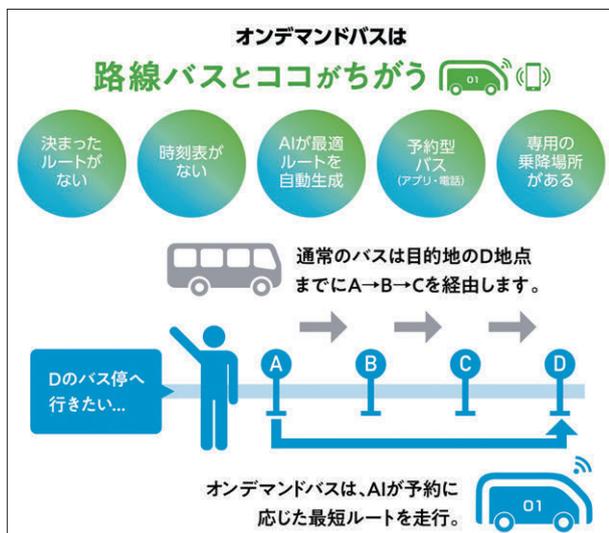


オンデマンドバスの導入

継続議題としている



阿久比町循環バス「アグピー号」



オンデマンドバスの一例：大阪メトロ提供



小柳みゆき 議員
(桜海会)

阿久比町循環バスアグピー号は、多くの住民の利用があり、なくてはならないものになっている。その反面「便数が少ない、バス停が遠いため利用しづらい。」などの理由から「少額ながら料金を支払ってもよいから利用しやすくしてほしい。」など、増便やバス停の増設を希望する声が多い。

このような課題を解決するものとして、注目を集めているのが「オンデマンドバス」である。「オンデマンドバス」とは、路線バスと違い、利用者が希望する乗車日時や出発地、目的地を予約すると、それに応じてA→B→Cを考えた柔軟に運行することができると、それに比べて本町でも、以前に「オンデマンドも視野に入れる」と答弁があった。

問 オンデマンドバスの調査研究の進捗。
答 (総) オンデマンドバスには様々な方式があり、メリット・デメリットを踏まえ、町の地域交通として有効な手段となるかを検討しているが、現時点では導入に至っていない。

問 導入した場合、バス停の増設。
答 (総) 導入の方式にもよるが、現在の定期路線方式よりも増設はしやすい。

問 導入する場合の経費の捻出については、どのような方法が考えられるか。
答 (総) 現在の限られた町の財源から費用を捻出する必要はある。歳入を増やす手段として、運賃収入、広告収入、国補助等の活用などが考えられる。